



19時からパパも子育て

子育てしやすいように職場環境を整えることは、従業員のやる気創出や業務の効率アップが期待できます。こうした取組の積み重ねが少子化克服への一歩です。子どもは社会の宝。仕事と子育てを両立しやすい環境づくりに会社全体で取り組んでいる企業へおじゃましてきました。



医療法人正和会（潟上市）

業種：医療・福祉業 従業員数：379名
<http://www.seiwakai-net.com>

潟上市と周辺地域で16、グループ全体では28の医療・福祉施設を運営。24時間対応の事業所内託児所の運営等が評価され、平成24年度には「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰 内閣府特命担当大臣表彰」を受賞。

女性にやさしい職場づくりで
産みやすく、育てやすく、働きやすく

女性の従業員が多い正和会グループでは、事業所が集まる潟上市昭和地区の敷地内で「てんぷす」という24時間対応の託児所を運営しています。医療と介護の現場では、男女が力を合わせる必要不可欠。出産や育児を理由とする優秀な人材の離職を防ぎ、長く働ける環境を整える取組で、より良い医療・介護サービスの継続的な提供に努めています

仕事と同様、家庭生活も尊重するので、基本的に従業員は定時で帰宅できるとのこと。朝晩のスタッフの引き継ぎ業務や会議の際も、所定外労働にならないようシフトを調整しています。女性にやさしい職場づくりを目指した結果、男女ともに働きやすい風土がグループ全体に生まれ、企業イメージのアップにもつながっています。



●従業員から
(ケアマネージャー 佐々木さん、作業療法士 鈴木さん)

出産しても迷わず続けられる職場です

「妊娠がわかった時も、この職場なら辞めずに仕事が続けられると安心しました。子育て中の同僚や上司も多いので、例えば授乳の時にちょっと託児所まで顔を出すなど、お互いに協力をしながら仕事をしています。夫の勤務先も残業が少ないので、帰宅後は一家団らんの時間を楽しんでいます」と佐々木さん。

「職場の隣に託児所があるので、定時で仕事を終わるとすぐに子どもを迎えに行けます。少し前まで夫が単身赴任をしていましたが、毎日の仕事のサイクルが安定しているので助かりました。託児所の子どもたちは、施設利用者のおじいちゃん・おばあちゃんたちと仲良くふれ合うことができます。笑顔があふれていて、とてもいい環境だと思います。」と鈴木さん。



●職場から
(事業管理部 玉井課長)

働きやすさを整え、質の高いサービスを提供

命や生活をお預かりする仕事柄、利用者だけではなく、従業員とその家族も幸せでなくてはならないと考えています。平成19年に託児所ができてから、「配偶者出産休暇」の有給化や、「子の看護休暇」を時間単位で取得可能にするなど、働きやすい職場づくりや仕事の効率化に向けて大きく動き始めました。おかげさまで、「子どもが産まれるから」という理由で仕事を辞める女性もほとんどいませんし、託児所があることを就職の決め手にする方や、第2子、第3子と出産する従業員も多くいます。「遅く帰る方が偉い」という考え方は、今の時代に合わないと思います。私も育休を取った経験があることから、男女ともに、特に子どもが小さいうちは、家族との時間を大切にしたいですね。



効果が見られた点

- ◎女性視点の職場づくりで仕事と子育ての両立がしやすくなる。
- ◎離職が少なく、優秀な人材を継続的に確保できる。